

平成 28 年度 第 3 回 奈良県福祉・介護人材確保協議会 議事録

開催日時：平成 28 年 10 月 28 日(金) 10 時～12 時

開催場所：奈良商工会議所 地下 AB 会議室

出席委員：空閑浩人、川井太加子、浅川幸男、安達直美、讃岐聡、高橋美和子、竹内輝明、松長一樹、
山本忠行、仙波俊和 [オブザーバ] (敬称略)

議題 (1) 福祉・介護事業所認証制度について

- 1) 評価項目・認証基準 (案) について
- 2) 認証取得申請のご案内 (案) について
- (2) 認証取得の支援策及び周知方法について
- (3) 若者向け福祉・介護の仕事 PR 冊子について
- (4) 認証事業所ポータルサイト構築について
- (5) 今後のスケジュールについて

(1) 福祉・介護事業所認証制度について

【竹内委員】

- ・ 12 月 1 日より運用開始ということで、より幅広い周知が必要である。パンフレットを早めに作成して頂ければ、周知活動に協力ができると思う。
- ・ 概要資料について、表紙があまりにも寂しい。一目見て興味を持ってもらえるデザインにして欲しい。
→ 概要資料のデザインに関しては検討させていただきたい。また、周知活動にも協力を頂きたいので、パンフレットの必要部数を事務局から確認させて頂く。(事務局)

【山本委員】

- ・ 各種様式について、ワード・エクセル・PDF などのデータを、ホームページからダウンロードできるようお願いしたい。
- ・ 事業所からの質問や回答内容について FAQ 形式でホームページに掲載して欲しい。可能であれば内容をこまめにアップデートして頂ければありがたい。
→ 様式にそのままデータを入力できるよう、様式のダウンロードに対応していきたい。また、寄せられた質問に関しては FAQ という形式でホームページ上に公開していきたい。(事務局)

【讃岐委員】

- ・ ストレスチェックについて、労働基準監督署への届出対象外となる小規模事業所では、対応することが厳しいのではないかと。
- ・ 例えば初年度で確認を行い、次年度以降もう一度基準を検討してから拡大するという方法もある。検討の余地があるのか確認したい。
→ プレ認証調査で訪問した小規模事業所で確認したところ、問題ないという回答を頂いているが、ただ、ハードルが高いという声が増えてくれば再度検討をしたい。(事務局)

【高橋委員】

- ・ 認証マークの進捗状況はどうか。認証マークの仕様を作る予定はあるのか。
→ 認証マークは次のステップとして検討したい。来年度、上半期の認証時期にあわせて、事業所で使用する際の、デザイン仕様などをまとめ、配布できるよう考えていきたい。(事務局)

【川井委員】

- ・ 10月4日より再開された厚生労働省社保審の介護福祉部会、人材確保対策の検討の中で裾野を広げ、研修の実施と、介護福祉士を取得した人がチームケアの中核的な役割を担える人材となるよう育成していくためのプログラム検討が行われている。
- ・ 今後プログラム内容を、人材育成方針や各種の研修の基準を変更することで反映して頂ければと思う。
 - 認証基準はその時点であるべき基準を設けるべきで、新たな研修カリキュラムなどが提示された場合、認証基準変更により常に最新の状態になる体制を検討していきたい。(事務局)
 - 12月1日より認証制度が運用開始となる。今後、認証基準について何か加筆修正や見直しについて、委員の方に相談する必要がある場合は相談させていただくが、最終的には会長一任ということで、ひとまず手続きを進めさせていただく。(空閑会長)

(2) 認証取得の支援策及び周知方法について

【竹内委員】

- ・ 来年度は認証を幅広く取得してもらうため、小規模事業所に対する支援が重要になる。来年度以降の支援内容や小規模事業所を対象とした支援策として、検討されているものがあれば教えて頂きたい。
- ・ 来年4月以降の事業所への周知策や、認証マークの選定に関する、ワーキングや部会を設置して検討してはどうか。
 - 支援策に関しては、特に大規模・小規模という区分を設けていない。今年度と同様にセミナーや個別相談会を行うほか、申請を視野に入れたワークショップを行いたいと考えている。ワーキング・部会の設置に関しては、3月に開催するの協議会で提案させていただく予定であり、皆さまにもご協力をお願いします。(事務局)
 - 大規模事業所だけでなく、小規模でも地域に密着して地道に事業を行う事業所に支援を行い、認証取得へとつなげて頂きたい。(空閑会長)

(3) 若者向け福祉・介護の仕事PR冊子について

【松長委員】

- ・ 配布時期について、中高生に配布する際はタイミングも大事になる。産業教育フェアや教育委員会、高校・中学の進路指導研究教育会など相談に乗ることができるかと思う。
 - PRの場や活用のタイミングについて、効果的な方法を相談させていただいた。(事務局)

【竹内委員】

- ・ 中学生は細かい文字を丁寧に読んでくれないと思われるので、もう少し文字数を減らして一目みて内容が分かるようにしてはどうか。
 - 11月上旬にワーキンググループで紙面のデザイン、レイアウトに関する検討を予定しているので、意見を伝えたいので検討頂く。(事務局)

(4) 認証事業所ポータルサイト構築について

- ・ 特に意見なし

(5) 今後のスケジュールについて

【空閑会長】

- ・ 将来的には認証事業所から、認証評価を受けてどのように活用しているか、認証取得後どのようなこと

が変わったかについて実践内容を報告する場として発表会やシンポジウムを開催してもよいかと思う。

その他

【仙波様】

- ・ ハローワークにおいて、求人時に認証取得事業所の表示をして PR する、ハローワークのホームページと認証事業所ポータルサイトをリンクさせるなど、今後、広報に関する取り組みに協力できるかと思う。

以上